

第15回 教育研究評議会 議事要録

日時 平成18年1月27日(金)10:30~12:05
場所 事務局会議室(5階)
出席者 相良学長、川口理事(総務担当)、松永理事(教育担当)、尾崎理事(研究担当)、河本理事(財務担当)、倉本理事(医療担当)、根小田人文学部長、川村理学部長、大拙副医学部長(代理)、金川農学部長、深見黒潮圏海洋科学研究科長、櫻井学長特別補佐(兼経営・管理推進本部長)、橋本学長特別補佐、池田学長特別補佐、大原学長特別補佐、菅野センター等連合教授会議長、加藤附属図書館長、本家評価本部長代行、吉倉教育推進本部長、辻田共通教育主管、上田評議員、松岡評議員、鈴木評議員、田口評議員、篠評議員
陪席者 西森監事

〔配付資料〕

- 資料 1 - 1 組織図案+運営組織案(A、B)
- 資料 1 - 2 研究部概要
- 追加資料1 人件費額の推移(16-22年度)
- 追加資料2 内部監査結果について

議事に先立ち、学長から、前回議事要録(案)の確認が行われ、異議なく承認された。

〔議題〕

1. 人件費の削減について

学長から、各国立大学法人における平成18年度運営費交付金の配分状況について報告の後、河本理事から、追加資料1に基づき、本学における人件費額の推移(シミュレーション)について説明が行われた。

また、学長から、今後もシミュレーションを続け、適宜、教育研究評議会に報告するとともに、各部局構成員に周知願いたい旨の要請が行われた。

2. 大学院改組について

川口理事から、平成19年度からの大学院改組計画に関し、大学院改組検討委員会の下総務及び教務WGにおいて「教育研究組織及び運営組織(案)」が取りまとめられた旨の報告の後、吉倉教育推進本部長から、大学院改組計画の検討経緯及び改組の趣旨等の説明とともに、資料1-1及び1-2に基づき、改組計画のポイントとして以下の説明が行われた。

- (1) 中央教育審議会答申「新時代の大学院教育(平成17年9月5日)」において、今後の知識基盤社会を背景として、大学院に求められる人材養成機能が4つ掲げられているが、本学の諸状況等を踏まえ、改組後の人材養成理念としては、「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」、「知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成」とすべきであるとの結論に至り、この人材養成理念に沿った新しい教育システムの創出と、本学の使命である現場主義の教育研究の実践が可能となる体制の構築を目指し、修士課程・博士課程を1部局化した文理統合型の大学院へ改組する。
- (2) 教育組織(教育部)と教員組織(研究部)を分離した運営体制とする。
- (3) 教育組織と教員組織の分離により、学部教育(学士課程教育)への責任の所在が不明確になる危惧があるとの意見を踏まえ、修士課程教育、学士課程教育及び共通教育の教育

課程編成等の責任母体として、それぞれ「教育機構会議」及び「共通教育機構会議」を新たに設置する。

人文社会系大学院(研究科)の全国的な動向や本学人文学部の考え方について、委員から意見が述べられるとともに、独立研究科としての黒潮圏海洋科学研究科の位置づけ、及び学校教育法上の教授会運営等に関する質疑応答を行い、教育研究組織の大枠としては、平成19年度から修士課程・博士課程を1部局化した文理統合型の大学院へ改組することとし、引き続き、大学院改組検討委員会及び各WGで具体化の検討を進めることとされた。

なお、学長から、改組後の教員の所属先については、既に確認されている学部としての意向を前提とし、改組に参画しない学部所属の教員については、教員各自の判断に委ねる旨の発言があった。また、参画への意向が未確認であった学内共同教育研究施設等については、センター等連合教授会として意向を提出するよう要請された。

3. 国立科学博物館の出展企画について

河本理事から、国立科学博物館より企画出展について依頼があり、本年12月の出展に向けて、深見黒潮圏海洋科学研究科長を中心に企画検討のためのWGを立ち上げ、具体化を図ることとしている旨の報告が行われた。

4. その他

(1) 理学部教員の業績詐称に係る処分について

川口理事から、理学部教員の業績詐称に係る処分等が確定されたことについて報告が行われた。

(2) 海洋生物教育研究センターの教授選考について

菅野センター等連合教授会議長から、海洋生物教育研究センターの教授選考について、選考委員会及びセンター等連合教授会での再審議の結果について報告が行われた。

(3) 内部監査結果について

河本理事から、追加資料2に基づき、内部監査結果に関し、航空機利用における効率的な執行の取組、並びに、毒物劇物の適正な管理について要請が行われた。

(4) 平成18年度大学入試センター試験の実施について

松永理事から、平成18年度大学入試センター試験(1月21日、22日)の実施結果とともに、謝辞が述べられた。

(5) 人権侵害に関する本学の対応について

根小田人文学部長から、昨年新聞報道された人権侵害に関する本学の対応の公表について意見が述べられた。

以上